

平成24年度
熊野町の
わかりやすい
予算書



総務部企画財政課

はじめに

熊野町は、広島市、呉市、東広島市のほぼ中央に位置する高原盆地で、江戸時代から伝わる筆の製造を産業の中心として「筆の都」として栄えたまちです。

昨年度、女子サッカーワールドカップで、日本代表の選手に贈られた化粧筆をはじめ、毛筆、画筆など、筆の製造は、現在も国内生産の約8割を占めています。その反面、町内に大規模な事業所が存在しないことから、法人に関連する税金は近隣町と比べると少ない状況となっています。



熊野町長 三村 裕史

また、昭和40年代に県営団地の造成を契機に、広島市などに通勤する人々のベッドタウンとして急激に人口が増加しましたが、近年、その働く世代の退職に伴う就労人口の減少や、少子・高齢化の影響などから、町税全体でも大幅な増額が見込めない状況となっています。

現在、熊野町には小学校が4校、中学校が2校、町立図書館、町民体育館、公園、道路などの複数の公共施設等があります。これらの施設を活用し、住民の福祉の増進に努めることなどを目的として、第5次熊野町総合計画の基本目標である『^{はぐく}こころもからだも健やかな「ひと」を育む熊野』と『^{はぐく}暮らしやすく、^{かか}元気な「まち」を育む熊野』を掲げています。この基本目標を実現するために、様々な施策に必要な経費を予算化し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めています。

熊野町は決して裕福な町ではありませんが、知恵と工夫により、住民の満足度の高い魅力的なまちづくりを行っていきます。

● 熊野町概要

項目	内容
人口（住民基本台帳人口） 平成24年4月1日現在	25,020人〔男12,150人、女12,870人〕
0歳～14歳	3,371人〔13.5%〕
15歳～64歳	14,606人〔58.4%〕
65歳以上～	7,043人〔28.1%〕
面積	33.62km ²
主な施設数（建物）	
学 校	小学校：4校、中学校：2校
そ の 他	公民館：3施設、健康センター：3施設、町民体育館、町立図書館、筆の里工房、中央ふれあい館、くまの・みらい保育園、町営住宅、環境センター等
H24年度 歳入歳出予算の総額	73億9,641万円
H23年度末 基金残高（貯金）	27億3,258万円
H23年度末 地方債残高（借金）	66億 340万円

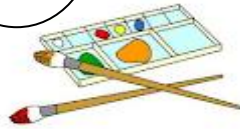
導入編

～身近な出来事を熊野町の予算におきかえると～

町の予算ってどのようなものなのでしょう。
身近なことを町の予算として置きかえると
どうなるか考えてみましょう。



学校で使う文房具を買う
ためにお金をもらいまし
た。
ちゃんと文房具を買うよ
うにしないと・・・。



来月、遊園地に遊びに
行くので今月分のお小
遣いをためておかない
と。
欲しいゲームがあるけ
どがまんしよう・・・。



お父さんの自動車が故
障してしまいました。
自動車がないと買い物
や、遊びに連れて行っ
てもらえないので修理し
なければいけません
・・・。



答えは10ページに記載しています。

基礎知識編

～予算についての基本的な疑問にお答えします～

Q そもそも
予算って何ですか？

A 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うかを計画し、その費用を見積もります。

Q 予算はどうやって
決まるのですか？

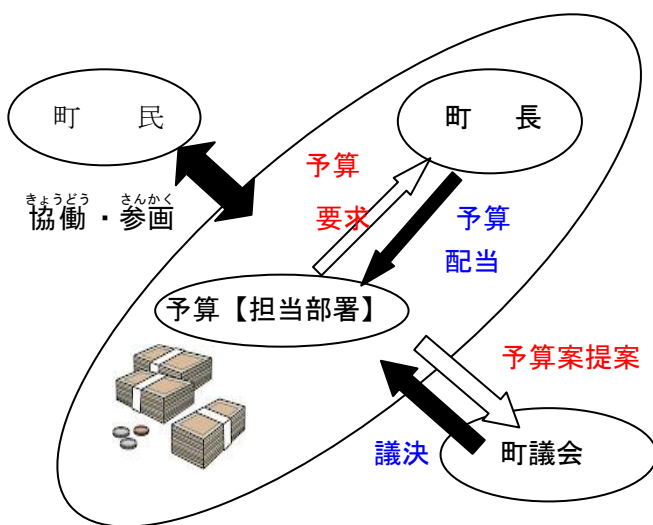
役場の担当部署が、町民の皆さんからの意見や要望を聴き、1年間の行政サービスを検討します。

町長は、各担当部署の案を予算案としてまとめ、町議会に提案します。

町民を代表する町議会は、提案された予算案をいろいろな面から審議

したうえで、議決により予算を決めます。

A 町長がつくった予算案が、町議会の審議をへて議決により予算が成立します。



Q 予定外のお金が必要
になったときは？

A 予定外の支出に必要な予算を見積もり、町議会へ提案します。

自然災害などの影響で、当初の見積もりでは予定していなかった経費が必要となった場合には、それに対応するための予算案をつくり、町議会へ提案します。



①最初に決める1年間の予算を「当初予算」、年度途中の予定外の支出に対応した予算を「補正予算」といいます。

Q

平成24年度の
熊野町の予算は？



A

一般会計、特別会計、公営企業会計のすべての会計をあわせると、146億5,182万円になります。

一般会計

福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。

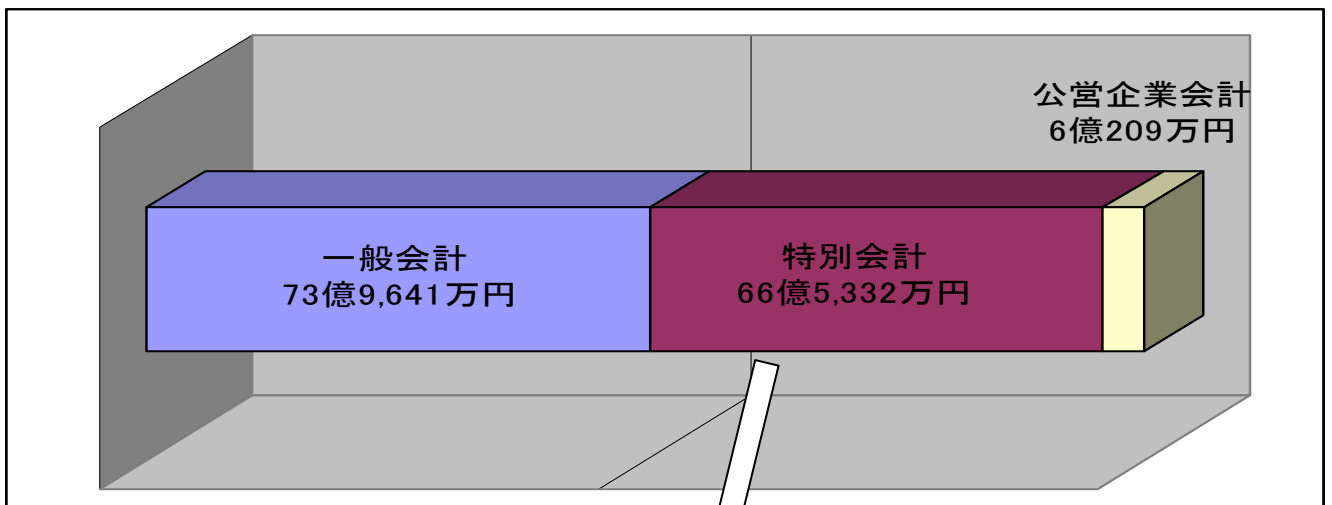
特別会計

熊野町では、国民健康保険や介護保険、
こうきこうれいしゃいりょう
後期高齢者医療、下水道事業の特別会計があります。

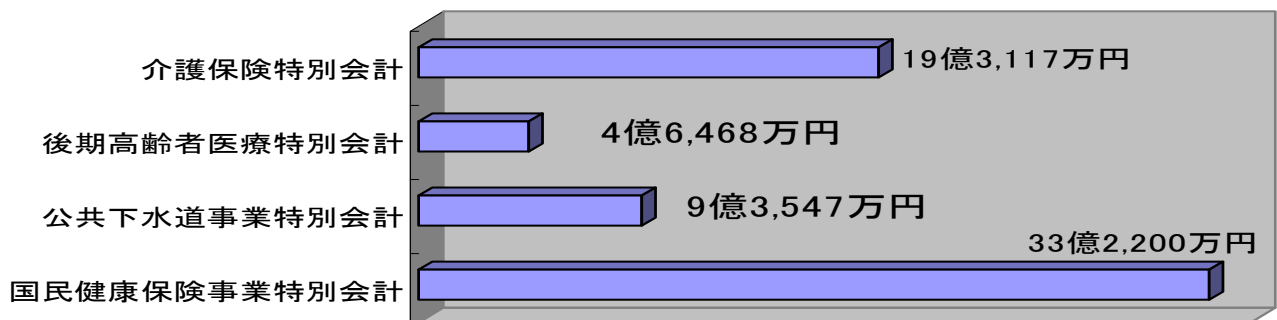
企業会計

町が経営する企業の会計です。水道事業会計があります。

熊野町の予算



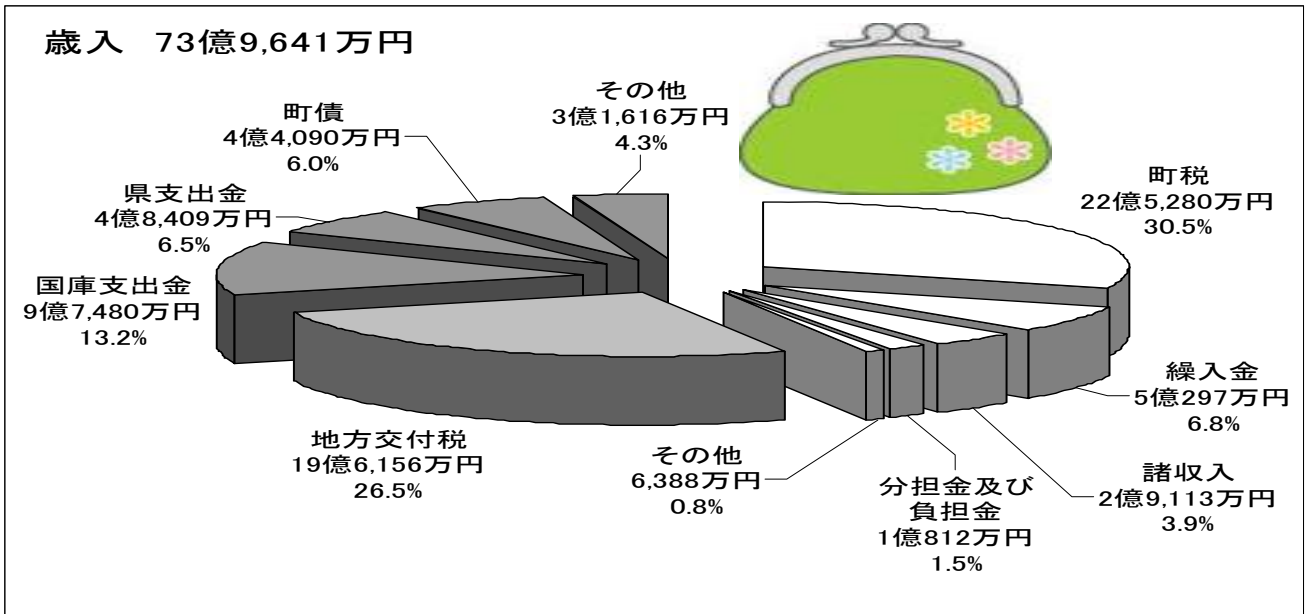
特別会計の内訳



歳入編

Q 平成24年度の
一般会計の歳入は？

A 一般会計の歳入には、町税や
国・県からの支出金、
地方交付税や銀行からなど
の借入金などがあります。



【依存財源】	41億7,751万円 (56.5%)
地方交付税	19億6千万円
みなさんが国に納めたお金の一部です。地方公共団体の財政状況等に応じて配分されます。	
国・県支出金	14億6千万円
みなさんが国や県に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために交付されます。	
町債	4億4千万円
事業を実施するために、国や銀行から借り入れるお金で、いわゆる町の借金です。	
その他（地方消費税交付金）	2億円
みなさんが納めた消費税の一部です。一定の割合が交付されます。	
その他（地方譲与税、各種交付金）	1億2千万円
地方譲与税や利子割交付金など、みなさんが国や県に納めたお金の一部です。	

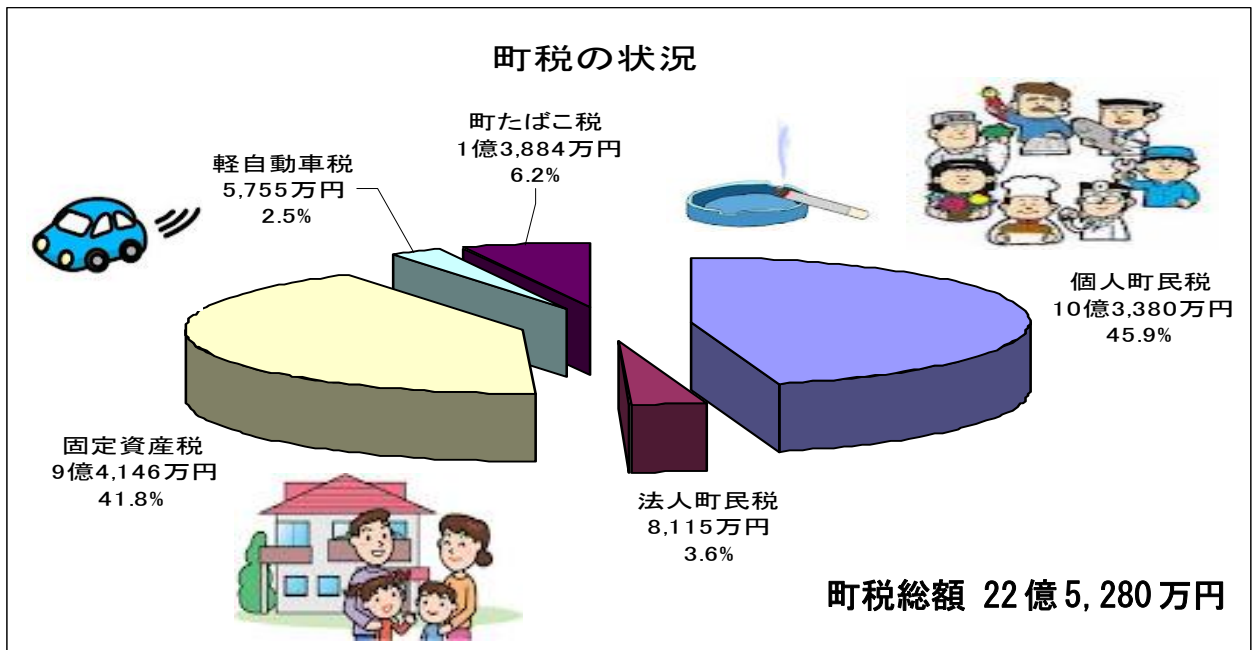
【自主財源】	32億1,890万円 (43.5%)
町税	22億5千万円
みなさんから、熊野町に収めていただく税金です。	
繰入金	5億円
各種基金（町の貯金）を取り崩してお金を使います。	
諸収入	2億9千万円
宝くじ助成金の交付や学校給食の給食費などのお金です。	
分担金及び負担金	1億1千万円
事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者が負担するお金です。	
その他（使用料及び手数料）	6千万円
町の施設の利用や証明書を発行する際にかかるお金です。	



② 「自主財源」とは町が自主的に調達できる収入、「依存財源」とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や町の借金のことをいいます。「自主財源」の割合が大きいほど財政は安定していると言えます。熊野町は5割を切っています。

Q 町税には
どのようなものが
あるのですか？

A 熊野町の町税には、
町民税、固定資産税、
軽自動車税、町たばこ
税があります。



※ 町税総額との構成比です。

町民税	みなさんが納める「個人町民税」と、町内の会社が納める「法人町民税」があります。	11億1,495万円
固定資産税	熊野町に土地・家屋・償却資産（事業に使う機械など）を持っている人や、会社が納める税金です。	9億4,146万円
軽自動車税	軽自動車・オートバイなどを持っている人が納める税金です。	5,755万円
町たばこ税	たばこの卸売業者などが町内の小売店などに売り渡した「たばこ」に対してかかる税金です。	1億3,884万円

Q 国・県からのお金は
何に使われるので
すか？

A 国・県支出金は、国や県が使い道を指定して町に交付するお金で、道路や学校等の公共施設の整備や社会保障関係費などに使われます。
国・県支出金は、「負担金」・「補助金」・「交付金」などに分けられます。



③収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」といいます。

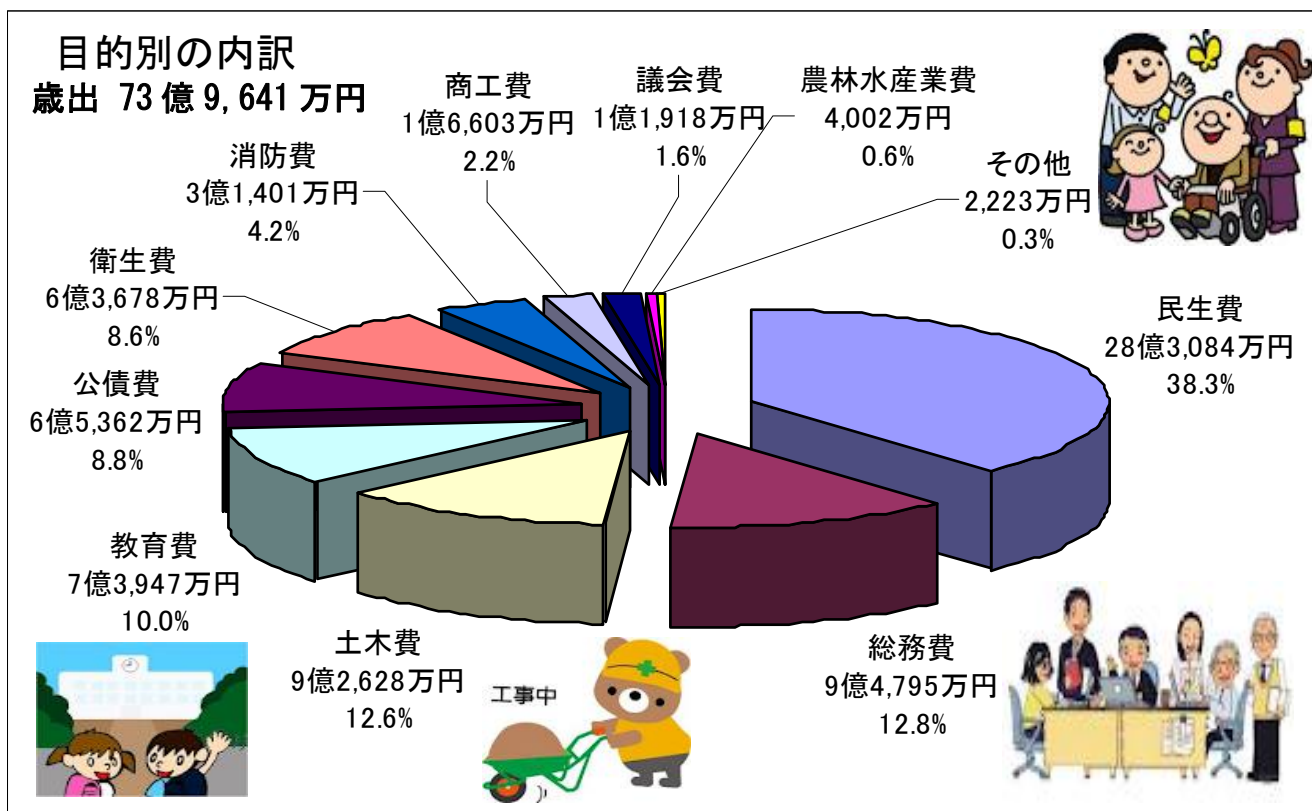
④学校の耐震工事や、道路の新設工事は、国の補助金などを使って工事をしています。

歳出編

Q 歳出の内訳は
どのように
なっていますか？

A 歳出は、福祉や教育、土木などの13の目的に分けられ、それぞれが人件費や扶助費などといった性質の経費で構成されています。

議会費 (町議会の運営) 1億1,918万円	総務費 (町の全般的な仕事) 9億4,795万円	民生費 (社会福祉や児童福祉) 28億3,084万円	衛生費 (医療や環境保全) 6億3,678万円
農林水産業費 (農林水産業の振興) 4,002万円	商工費 (商工業の振興) 1億6,603万円	土木費 (公共施設の整備) 9億2,628万円	消防費 (防災、消防、救急) 3億1,401万円
教育費 (学校教育・社会教育) 7億3,947万円	公債費 (借金したお金の返済) 6億5,362万円	災害復旧費、諸支出金、予備費 (災害時に必要なお金など) 2,223万円	



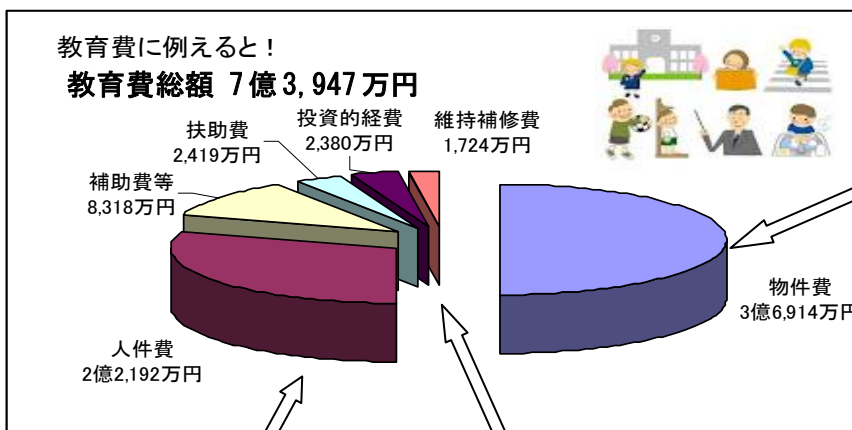
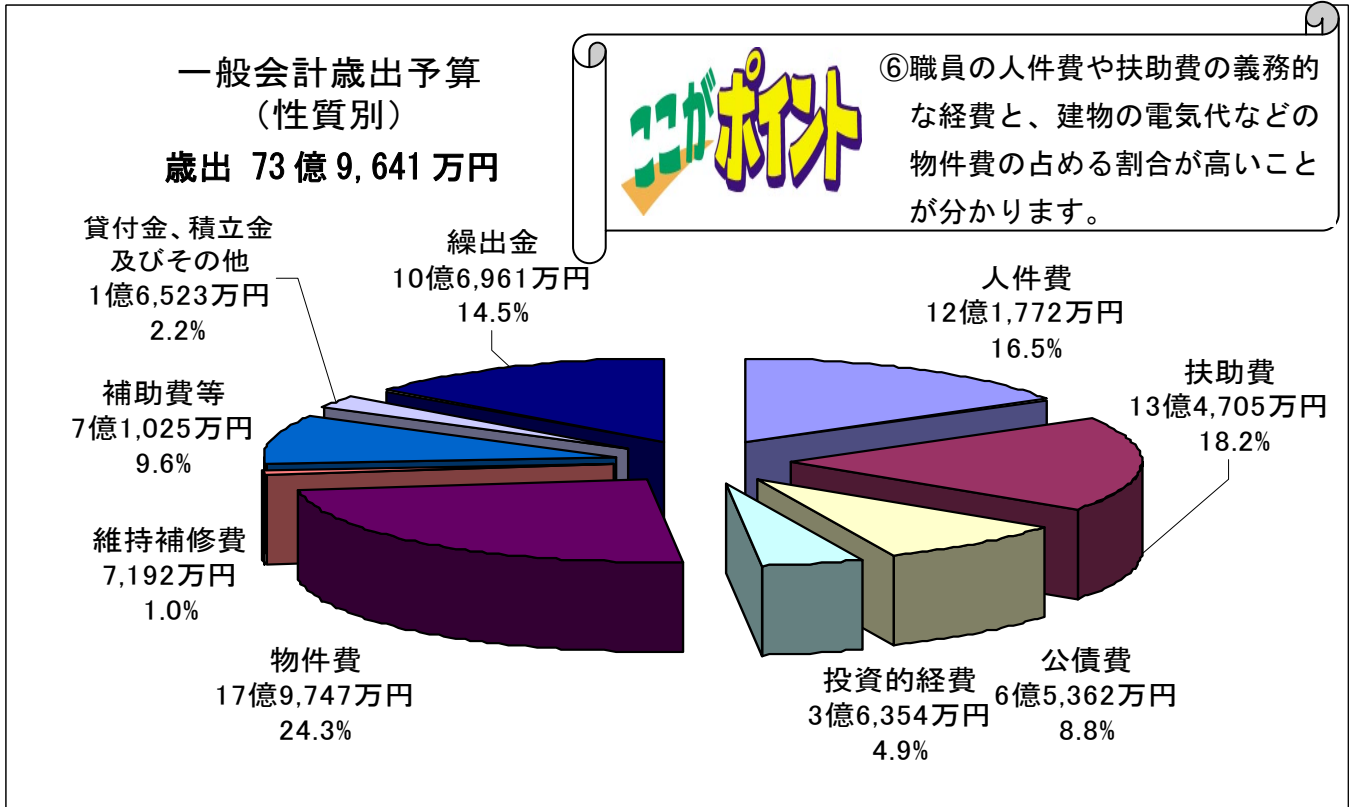
⑤熊野町の予算は、社会福祉や児童福祉でお金を使う「民生費」の予算が1番多いことがわかります。学校や公民館・町立図書館・町民体育館でお金を使う「教育費」は、4番目に多くなっています。

Q

歳出を性質で分ける
とどのように
なりますか？

A

人件費、^{ふじょ}扶助費、公債費、投資的経費で全体の約半分を占めています。



物件費
(電気代、消耗品代、委託料、借地代など)
3 億 6,914 万円

人件費
(給料や手当など)
2 億 2,192 万円

投資的経費
(校舎の建設や耐震工事など)
2,380 万円

一つの目的は、いろいろな性質を持つ支出によってできあがっています。どんな性質の支出が多いかをみると、その目的の特徴が分かりやすくなります。

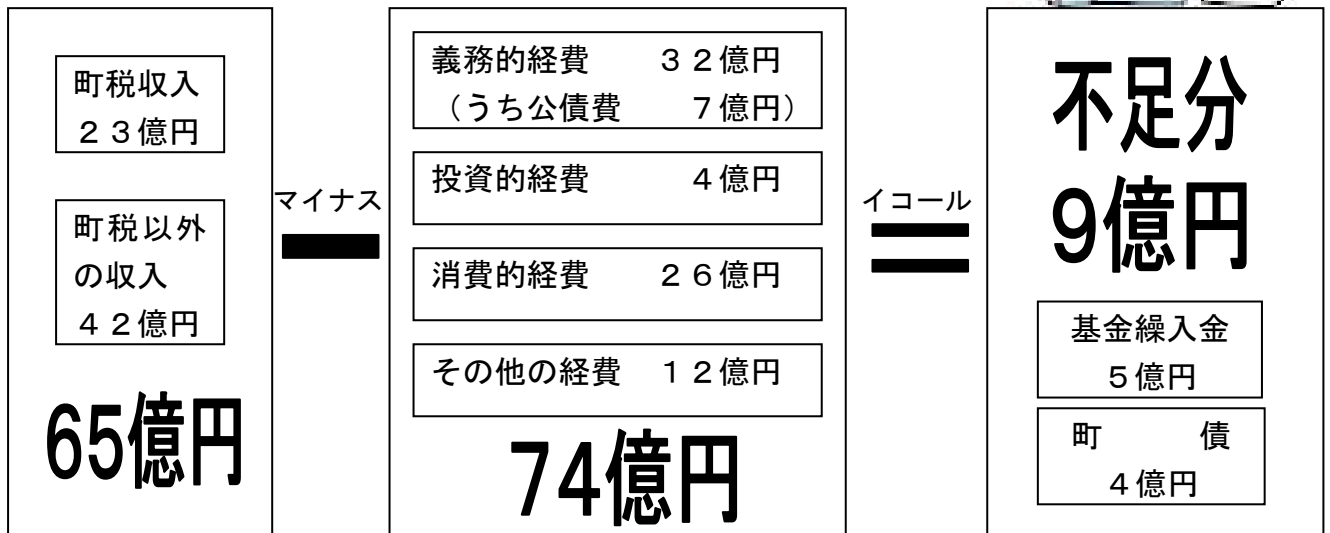
ポイント

⑦学校を運営するための経費(物件費)や教育委員会の職員の給料(人件費)の割合が大きいのが特徴です。学校の耐震化や改修工事をする年度は投資的経費の割合が増加します。

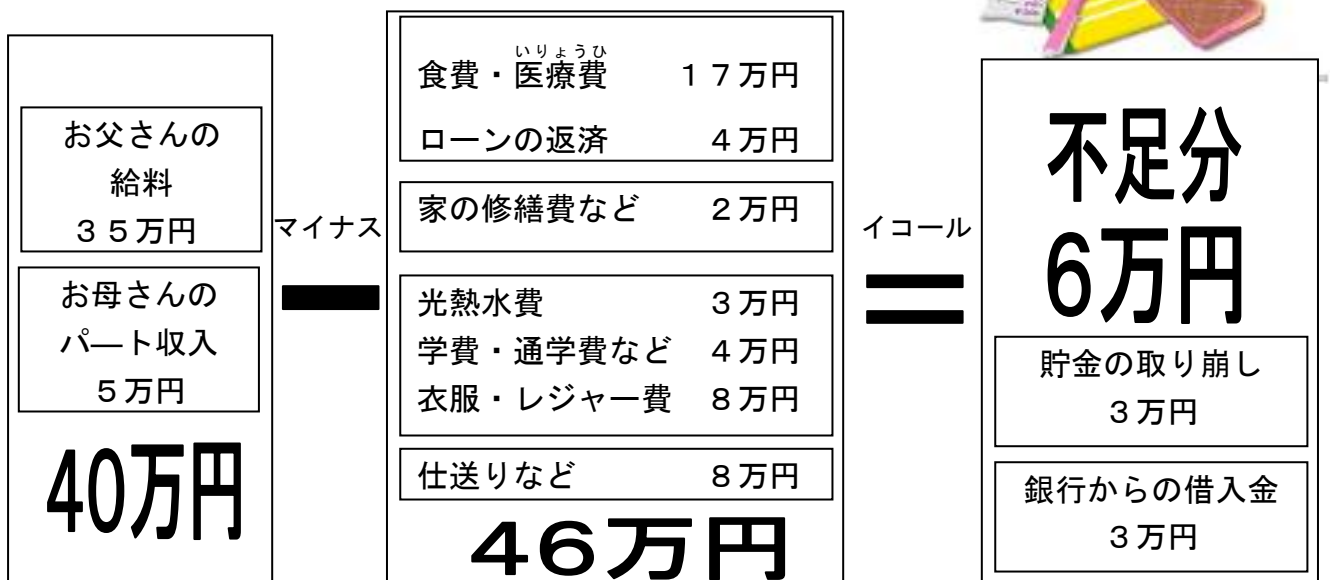
家計簿編

～熊野町の平成24年度の予算を家計簿に例えると～

《平成24年度一般会計予算》



《1か月分の家計にたとえると…》



⑧月収40万円の家計にたとえると、1か月あたり6万円の赤字が出ています。それを補うため、毎月貯金を3万円取り崩し、銀行で3万円お金を借りていることとなります。
食費や、水道代、電気代、ガス代などの光熱水費を節約しなければ…!

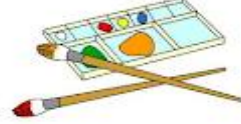
導入編の解答

2 ページの解答です。



ケース1.

学校で使う文房具を買うためにお金をもらいました。ちゃんと文房具を買うようにしないと・・・。



熊野町が国・県支出金をもらうためには、国や県に「学校の校舎を耐震工事したいのですが」などと使い道を決めて要求しなければなりません。使い道が違ったり、使わなくなったりすると返さなくてははいけません。

ケース2.

来月、遊園地に遊びに行くので
今月分のお小遣いをためておかないと。
欲しいゲームがあるけどがまんしよう
・・・。



必要なモノがあれば何かを我慢しなければいけないのは町も同じです。最近の町税（歳入）の減少や、私たちの健康、生活を守るための社会保障関係の費用など（歳出）の増加に対応するため、熊野町でも人件費や電気代などの必要経費を切りつめる努力をしています。

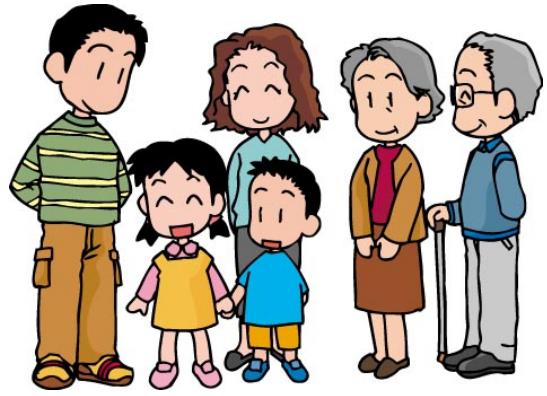
ケース3

お父さんの自動車が故障して
しまいました。
自動車がないと買い物や、遊び
に連れて行ってもらえないので修理しなければ
いけません・・・。



予定外（自動車の修理）の支出が出たときは、「補正予算」を町議会に提案し、予算を議決してもらわないとお金の確保ができません。

主要事業編



Q

平成24年度の

主な事業は何ですか？

A

『^{すこ}ころもからだも健やかな「ひと」を^{はぐく}む熊野』

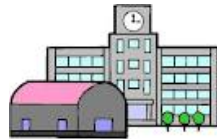
『暮らしやすく、元気な「まち」を^{はぐく}む熊野』

この2点の基本目標の達成に向け、次の事業に予算を配分しました。

「ころもからだも健やかな「ひと」を育む熊野

〔子どもが健やかに、たくましく育つまちとする〕

- ①小中学校の耐震化（第四小学校、熊野中学校の工事）、
第二小プール等施設改修（補正予算含む） 1億9,625万円
- ②学力向上対策の継続 1,725万円
- ③「うちどく」事業の実施 40万円



〔共に支えあい、健やかに暮らせるまちとする〕

- ①障害者自立支援事業による
^{じんぞう}腎臓 障害者通院助成の拡充 360万円
- ②感染症対策事業 6,228万円



〔住民の誰もが尊重され、活躍できるまちとする〕

- ①新宮コミュニティーセンター新築工事 2,131万円
- ②住民参加型まちづくりの推進 1,500万円



〔住民が創造力を発揮できるまちとする〕

- ①音楽を通じて福祉施設や中学校での交流活動
（公共ホール活性化事業） 160万円
- ②図書館システムや町民会館^{ぶたいおんきょう}舞台音響設備の改修 1,099万円



【暮らしの基盤が整ったまちとする】

- ① 深原町有地造成事業
出来庭川角中央線・深原公園線新設工事 2億5,664万円
- ② 町営住宅長寿命化計画策定 1,741万円



【日常生活を快適に暮らせるまちとする】

- ① 生活福祉交通の実証運行の実施 2,000万円
- ② 生活道路の整備
(熊野団地側溝、団地2号線舗装修繕等) 9,984万円



【安全に安心して暮らせるまちとする】

- ① 総合防災訓練の実施 44万円
- ② 備蓄物資の購入 299万円
- ③ 防災行政無線の電話音声案内装置設置 336万円



【地球環境に調和したまちとする】

- ① 住宅用太陽光発電システム等普及促進事業 250万円
- ② 土岐城山などの自然環境の保全整備 321万円
- ③ 鳥獣被害防止対策 208万円



【元気のある産業が育つまちとする】

- ① 地域活性化事業としてプレミアム買物券の発行など 1,000万円
- ② 産業観光推進による観光事業の強化 1,392万円



【筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまちとする】

- ① 熊野筆首都圏情報発信拠点整備事業として
東京に出店 1,597万円
- ② 宮城県石巻市での文房四宝まつり開催 200万円



用語の説明

歳入歳出予算編

[歳入]

町税

町民の皆さんや町内に事務所を持つ会社などに納めていただくものです。町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税があります。

地方交付税

国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)を財源として、全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国が一定の基準により町に交付されるものです。

使用料及び手数料

町の施設の利用や事務により、サービスを受ける人から、その受益に対して徴収するものです。体育館の使用料や住民票の写しの交付手数料などが該当します。

国庫支出金

国が町へ交付する使い道が決められているお金の総称で、町から国へ、使い道を説明して依頼し、許可されないと町へは支出されません。大きく分けて「負担金」、「補助金」、「委託金」の3つに分類されます。

県支出金

県が町に対して支出するものです。県自らの施策として交付するものと、県が国庫支出金を経費の全部または一部として交付するものがあります。

繰入金

一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金運用をするものです。特別会計から一般会計に資金が移される場合を「繰入」といいます。

地方債(町債)

町が事業を行うにあたり、財源が不足する場合、特に一時に多額の資金を必要とするときに、銀行などから資金を調達するもので、長期的な借入金です。

[歳出:性質別]

人件費

職員の給与や町議会議員、臨時職員への報酬^{ほうしゅう}、賃金などの経費です。

物件費

町の経費のうち消費的性質をもつ経費です。賃金、旅費、需用費、委託料などが該当します。

維持補修費

道路、公共用施設などを管理するために必要な経費です。

扶助費

社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者^{こんきゅうしゃ}などに対して支援に要する経費です。生活保護費・児童手当などがあります。

補助費等

町から他の地方公共団体(県、市町、一部事務組合など)や民間に対して、行政上の目的により交付される現金的給付に係る経費です。主なものとして、報償費^{ほうしょうひ}(講師謝金など)、役務費(保険料)、負担金・補助金及び交付金(一般的な補助金)などが該当します。

投資的経費

道路、橋りょう、学校、庁舎などの施設の新築、増設の建設事業に必要とされる経費です。

公債費

町債の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費です。

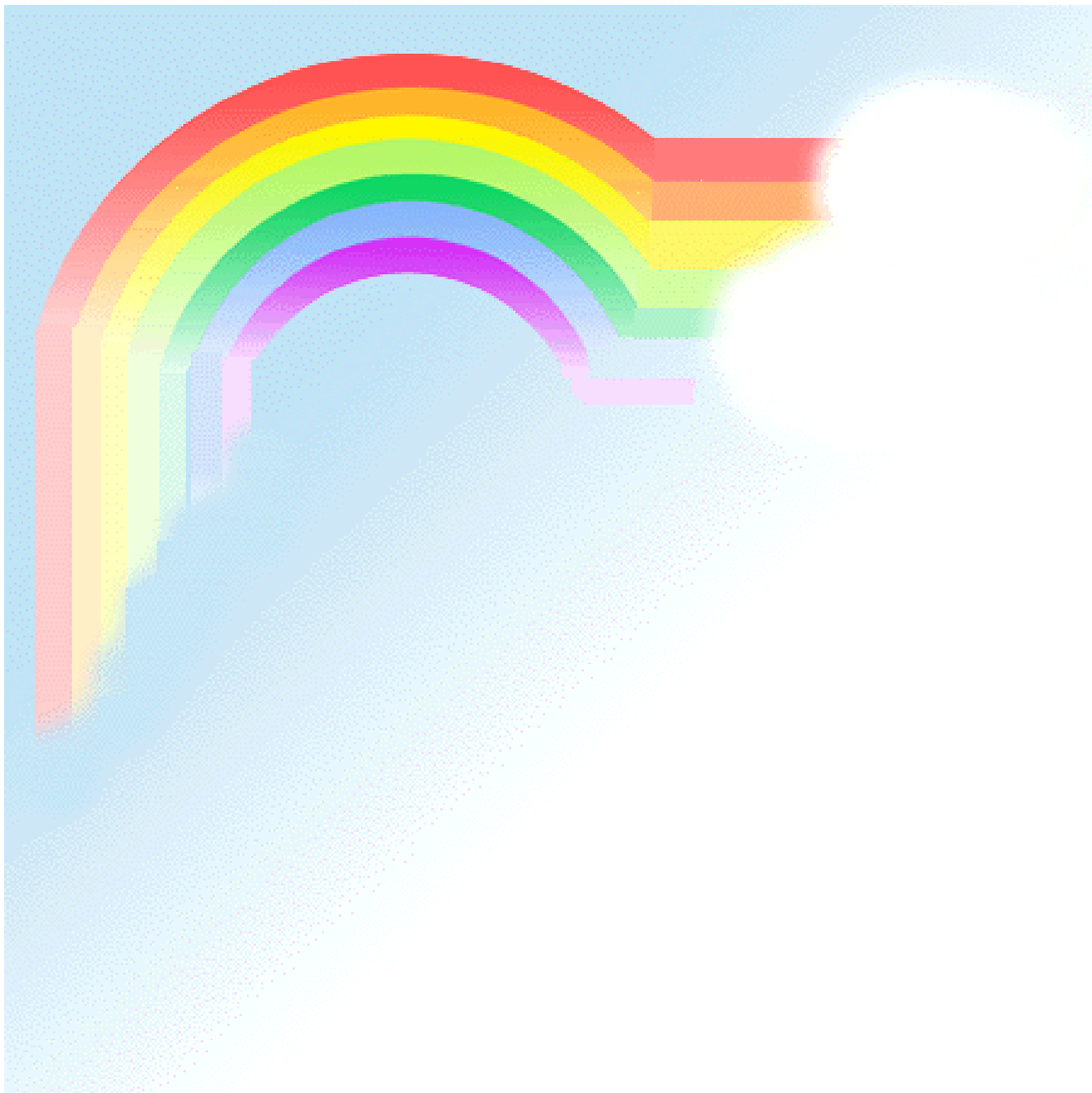
繰出金

一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金を運用するための経費です。

[その他]

会計年度

毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものと定められています。



熊野町のわかりやすい予算書

お問合せ先 熊野町 総務部 企画財政課
〒731-4229 安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号
電話 082-820-5632 FAX 082-854-8009
E-mail zaisei@town.kumano.hiroshima.jp